

平成23年度遠野市国民健康保険特別会計予算の要領

1 事業勘定

総額を平成22年度当初予算より 3.1%減の 3,519,304千円とする。

被保険者数等は、平成20年4月の制度改正以降の数値を基礎とし、世帯数 5,225世帯（対前年度比 2.8%減）一般被保険者数 8,520人（対前年度比 7.9%減）、退職被保険者数 700人（対前年度比14.8%増）、被保険者合計を 9,220人（対前年度比 6.5%減）と見込んでいる。

歳入の国保税収入は、被保険者数、所得額の減少等から 3.1%減の 620,268千円、定率国庫負担（34%）、国財政調整交付金（9%）等に基づき国庫支出金 944,803千円、都道府県財政調整交付金（7%）等に基づき県支出金 124,705千円、岩手県国民健康保険団体連合会から示された共同事業拠出金額に基づき共同事業交付金 416,792千円とする。

また、前期高齢者交付金は、平成21年度精算分と合わせて 928,570千円とする。

一方歳出は、平成20年4月以降の数値を基礎とし、過去3カ年の平均伸び率で医療費を推計し、保険給付費を 6.2%減の 2,342,569千円、後期高齢者支援金等は、9.2%増の 417,743千円、介護納付金は14.2%増の 212,998千円とする。共同事業拠出金は、岩手県国民健康保険団体連合会から示された 2.5%減の449,183千円、特定健康診査等事業費は、目標受診率を60%とし、保健事業費全体で 6.7%増の35,536千円とする。

なお、歳出予算額に対して不足する歳入予算額31,628千円については、財政調整基金を取り崩すことで予算編成を行う。

経済的弱者や高齢者が多く脆弱な保険基盤であるため、ますます厳しい財政運営が予測されるが、国民健康保険事業の運営状況等を市民へ周知していくとともに、医療費適正化対策、収納率向上対策及び保健事業に積極的に取り組む。

（歳入）

（単位：千円、%）

款	科目	本年度		前年度		比較
		予算額	総額対比	予算額	総額対比	
1	国民健康保険税	620,268	17.6	640,218	17.6	△19,950
2	使用料及び手数料	500	0.0	300	0.0	200
3	国庫支出金	944,803	26.9	1,128,817	31.1	△184,014
4	療養給付費等交付金	215,120	6.1	132,275	3.7	82,845
5	前期高齢者交付金	928,570	26.4	853,932	23.5	74,638
6	県支出金	124,705	3.5	127,881	3.5	△3,176
7	共同事業交付金	416,792	11.8	424,289	11.7	△7,497
8	財産収入	1	0.0	1	0.0	0
9	繰入金	262,281	7.5	319,057	8.8	△56,776
10	繰越金	1	0.0	1	0.0	0
11	諸収入	6,263	0.2	4,363	0.1	1,900
歳入合計		3,519,304	100.0	3,631,134	100.0	△111,830

(歳出)

(単位：千円、%)

款	科目	本年度		前年度		比較
		予算額	総額対比	予算額	総額対比	
1	総務費	48,642	1.4	54,558	1.5	△5,916
2	保険給付費	2,342,569	66.6	2,498,024	68.8	△155,455
3	後期高齢者支援金等	417,743	11.9	382,663	10.6	35,080
4	前期高齢者納付金等	1,321	0.0	718	0.0	603
5	老人保健拠出金	230	0.0	3,550	0.1	△3,320
6	介護納付金	212,998	6.0	186,451	5.1	26,547
7	共同事業拠出金	449,183	12.8	460,775	12.7	△11,592
8	保健事業費	35,536	1.0	33,316	0.9	2,220
9	基金積立金	1	0.0	1	0.0	0
10	諸支出金	6,081	0.2	6,078	0.2	3
11	予備費	5,000	0.1	5,000	0.1	0
歳出合計		3,519,304	100.0	3,631,134	100.0	△111,830

《参考：前年度当初の調定額及び医療費見込みとの比較》

(単位：人、円、世帯)

	被保険者数（年度平均）			一人当たり調定額			一人当たり医療費		
	23年度	22年度	増減	23年度	22年度	増減	23年度	22年度	増減
一般被保険者	8,520	9,246	△726	67,700	65,500	2,200	304,000	305,800	△1,800
退職被保険者	700	610	90	76,700	91,000	△14,300	319,300	316,800	2,500
合計	9,220	9,856	△636	68,300	67,100	1,200	305,200	306,500	△1,300
				一世帯当たり調定額					
国保世帯数	5,225	5,378	△153	120,600	123,000	△2,400			

※調定額は、現年の医療給付費分＋後期高齢者支援金分＋介護納付金分の総額を年度平均の被保険者数及び世帯数で除している。

## 2 直営診療施設勘定

総額を平成22年度の当初予算より1%減の161,807千円とする。

患者数は、中央診療所5,917人、小友診療所1,977人、附馬牛診療所1,353人、宮守歯科診療所5,269人、患者数合計を14,516人（対前年度比1.1%減）と見込んでいる。

歳入では、診療収入を過去4カ年の平均と平成22年度診療収入の実績から推計し4,568千円減の113,022千円とし、財源不足となる47,885千円は他会計から繰り入れることで編成する。

歳出は、総務費を使用料等の減から0.6%減の115,135千円、診療にかかる医業費を2%減の見込みにより45,722千円とする。

直営診療施設として医療を必要とする地域住民のニーズに対応した診療を行いつつ、医科・歯科ともに疾病予防活動にも積極的に取り組み、保健・医療の一体的充実に取り組む。

（歳入）

（単位：千円、%）

款	科 目	本 年 度		前 年 度		比 較
		予 算 額	総額対比	予 算 額	総額対比	
1	診療収入	113,022	69.8	117,590	71.9	△4,568
2	使用料及び手数料	430	0.3	430	0.3	0
3	県支出金	1	0.0	1	0.0	0
4	財産収入	1	0.0	1	0.0	0
5	繰入金	47,885	29.6	44,940	27.5	2,945
6	繰越金	2	0.0	2	0.0	0
7	諸収入	466	0.3	466	0.3	0
歳入合計		161,807	100.0	163,430	100.0	△1,623

（歳出）

（単位：千円、%）

款	科 目	本 年 度		前 年 度		比 較
		予 算 額	総額対比	予 算 額	総額対比	
1	総務費	115,135	71.1	115,823	70.9	△688
2	医業費	45,722	28.3	46,657	28.5	△935
3	施設整備費	800	0.5	800	0.5	0
4	予備費	150	0.1	150	0.1	0
歳出合計		161,807	100.0	163,430	100.0	△1,623

《参考：前年度実績見込みとの比較》

	診 療 日 数 (単位：日)			患 者 数 (単位：人)		
	23年度	22年度	増減	23年度	22年度	増減
中央診療所	153	152	1	5,917	5,832	85
小友診療所	49	47	2	1,977	1,966	11
附馬牛診療所	48	50	△2	1,353	1,430	△77
宮守歯科診療所	264	267	△3	5,269	5,448	△179